本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
㈱全国婦人新聞社
〒160 本社　東京都新宿区西新宿3—7—28　宝幸西新宿ビル
電話03（343）1846代表
振替口座　東京　172320
〒543 支局　大阪市天王寺区勝山2—202
電話06（771）7415

全国婦人新聞

ご購読料
1年　3,000円
（郵送料とも）
現金・切手・振替で前納
（月3回発行）
10日・20日・30日

うすくちは心もち控えめにお使いください
東
ヒガシマル醤油
＊醸造元　兵庫県竜野市　ヒガシマル醤油株式会社

シンポ 女子学生亡国論20年目の回答

職場に活気が生れた……西武
仕事面で難しい面も……住友
ハンディは感じない……三国

〝就職の季節〟に先がけて「女子学生亡国論20年目の回答」というシンポジウムが、九月十二日午後、東京・内幸町のプレスセンタービルで行われた。これは、主に昭和三十年代に大学を卒業し、いま、社会で活動している女性が中心となって、三十年代後半にマスコミを賑わせた〝女子学生亡国論〟に対する〝回答〟を示そうというもの。女子学生に対する企業の門は、以前より広くなり〝薄日がさす〟状態とはいうものの、男女平等にはほど遠い。〝やる気〟のある大卒女子はどのように力が発揮できるのか、どんな問題があるのかを考えた。このシンポジウムのことが、新聞などで大きく報道されたこともあって、参加者は主催者の予想を上まわる四百人。これからの就職を控えた現役の女子学生も多く、会場は終始、真剣な熱気にあふれていた。

シンポジウムの会場

大卒女性の活用を考える

このシンポジウムは、昭和五十三年～五四年にかけて日本女性学研究会（富士谷あつ子理事長）の「高学歴女性の就業に関する意識調査」の中で生まれた。一般的な調査のほかに面接調査も行ったが、調査対象の三十～三五年大卒女性と話しあうち（富士谷さんも昭和三一年京大卒）、女子学生亡国論（これはいい出した暉峻康隆阜大教授、池田弥三郎慶大教授＝いずれも当時＝の意図とは別に、マスコミで面白おかしくとりあげられた嫌いはあるが……）に対し、大卒女子がこの二十年間どう活動して来たか自分たちの歩いてきた足どりを示し、事実によって反論し、女性の活用を広く社会に訴えたいという話になった。十七人の実行委員が出来たが、富士谷さんらの関西グループと東京グループと、住まいも離れており、また、みな忙しい仕事をもつ人たち。打ちあわせ一つにも大変な苦労があったようだ。

会はまずシンポジウム実行委員長の富士谷あつ子さんの「女子学生の就職戦戦にも薄日がさしてきた現在、もはや女子学生を使うか使わぬかの問題でなく、活用の問題と思う。企業も大卒女性を十把一からげに考えず、本当にその個人がやる気があるかどうか見てほしい。また同時に、〝犬の如く働いていいものかどうか〟という問題もある……。一回だけの催しにせずひきつづき全国各地でこんな会を開いてほしい」と問題提起した。

つづいて、パネルディスカッション「大卒女性の活用を考える」。大卒女性に門戸を開き理解を示している企業（西武百貨店、住友商事、三国事務所）の担当者が、評論家樋口恵子さんの司会で話しあった。西武百貨店の場合（人事部長・井戸和男氏）「昭和四十五年から大卒女子を計画的に採用、積極的に活用しており、ここ数年定着率もよくなり、最近は三ケタの採用となっている。五〇年九月からショップマスター制度をとり入れたが、女性が五割を占めている。また、管理職も含めた専門職女性は三百人を越えている。また昨年、ライセンス制度を設け（百二十人が取得）取得者は、出産、育児等で一たんやめたあともカムバック出来るようにした。こうした制度を通じて女性の能力が生かされるとあって職場が生き生きし、また就職希望の女性がふえ、優秀な婦人が集まり、企業の近代化が進んだ。企業ももう企業の論理でなく人間の論理でものを考える時代だ」と力説。「管理職をめざす生き方もあるが、女性は〝専門家〟になり、〝犬のように働かないでも〟活躍出来る生き方があるのではないか…」とのべた。

住友商事（那須秀康広報室長）「四年制卒の女子をとり始めたのは十年くらい前から。昨年は百八十人採用した。優秀な人をとるのは企業として生きのこるため当然のことだ。が、一企業だけの姿勢では、社会＝女性の側がついてこない。四年制卒の女子が入ってから日も浅いせいもあるが、〝定着率〟が非常に悪い。入社時は男子は一般職で入るが、女子は事務職で入り、仕事の出来る人は一般職にかわってもらう——」。樋口さんの〝どうしたら事務職から一般職にかわれるのか〟の質問に答えて「一般職と事務職の給料の差は十円ほどとかわらない。が事務職はアシスタント業務、責任ある仕事は出来ない。切りかえは入社後十年。ほかに入社時、自宅通勤という条件がある」「住商の女子社員は三千五百人、うち一般職は一七人。この中に子もちの女性はいない……」に会場ため息。

しかし、商社の厳しい仕事上、かなり〝男女平等〟はむずかしい面があるのは否めないようだ。商売から世界中を歩かなければならないが、現実の問題として発展途上国に政変があったというとき女性を出せるか—。転勤もかなりネックとなる…。「女性の能力が生かせるかどうか、上司の問題もあるが…」とつけ加えた。

三国事務所の三国陽夫氏は〝財務アナリスト〟という仕事に携っている。「簡単にいうと企業の評価をする仕事です。この評価で金融面の扱いもちがってくる大変な仕事です。評価は、企業が人間から成り立っている以上、会計学だけではだめで広い知識と理解が必要になってくる。だから私の事務所のアナリストは英文学、数学、法学、社会学などあらゆる学部の卒業生が揃っていて全員女性である。本人次第で、女性というハンディはない」という。なぜ女性が？という質問には「一人前の財務アナリストになるには三～五年かかり、能力がいる。男なら当然ひっぱりだこで就職出来るほど能力のある女性が女性であるために職場に入れず、こういう人が私の事務所に来たのでは…」という。

大卒後20年の軌跡を語る6人の女性

大卒女性はどう生きたか

かと聞かれ「その時にならないとわからない」と答えた。今私は面接する側にまわっているが、男性の試験官から同じ質問が出、苦笑する。松下は福祉面も充実しており、前から再就職制度もあった。しかし自分の職場ではやはりやめる大卒女性が多い。職場に必要な人間になることも大切だ。

挫折にめげずに

▽小松満貴子（京都経済同友会事務局長）私は職を転々としている。大学の助手、司法試験失敗等くりかえし、結婚し子を生み、転勤が多く、七年つづいた大学助手の生活もダメになり、日本語教師の資格も得たが、生活の手段としてはむずかしく……という風だ。キャリアプランをたてておくことが大切なのと、人間何が起るかわからない、一つ挫折したらダメと思うなということを後輩に忠告したい。

10年で一本立ち

▽碧海酉癸さん（ヒープ活動推進会議）大卒後、浪人しながらテレビ関係のアルバイトを二年。その後運よくTBSに入りディレクター、結婚し三児を生んだが、夫のニューヨーク勤務で辞めざるをえなくなる。TBS時代11年間の仕事と海米中の見聞を生かし、企業と消費者のパイプ役、ヒープの仕事をはじめ、退社後十年でようやく夫の扶養家族でなくなった。PTAなど地域の活動もしている。TBSを辞めた時はお先まっ暗だったが、もうこれで年をとるまで仕事を続けられると思っている。

地域に知識を返す

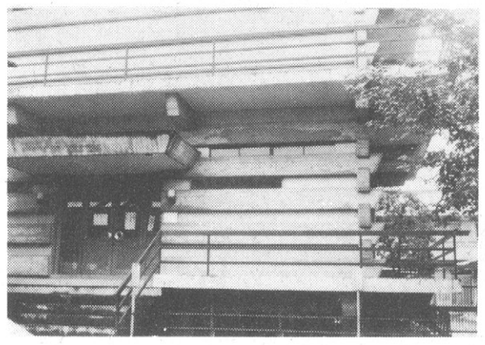
▽井上チイ子さん（千里山生協理事）いなかと神戸で教職についたが、結婚、出産と両立出来ず家庭に入った。オイルショックで右往左往する主婦を見、上手に暮らして行けるやり方を と、生協運動に入り理事となり八年たつ。若い方へいいたいことは余儀なく家庭へ入っても、知識を地域にかえしてほしい。

良質のヘルパーを

▽児玉佳与子（大谷大学講師）若い時から大学で教えるのが夢で、家庭と両立出来ると思っていた。小学生の子をつれ、夫と一しょにアメリカに留学二ヵ月目に姑が倒れ、仕方なく帰国。仕事もやめ、しゅうと、姑の世話をせざるをえなくなった。ヘルパー、良質の保育所、ケアセンター等の完備を切望する。現在もはや遅がりしの感じで、週四時間半講義し、百五十人の成績をつけ、一ヵ月五万円の薄給。大学で教えている女性は多いが、多くは非常勤講師で、この薄給で日本の大学は成り立っているといってもよい。

壇上のリポーターたちは、参加者のかなりの部分を占めた在学生からみると、選りぬきのエリートのように見えたようだが、大企業に入り、そのままの一本やりは一人だけ。あとは予想外の障害につきあたり、まわり道し、苦労しながら現在に来ているとこに、女性の生き方の〝むずかしさ〟〝きびしさ〟を痛感したようだった。

徳蔵寺板碑保存館



身近かで実のある学びの場

徳蔵寺板碑保存館は、その名のとおり東京・東村山市の「徳蔵寺」境内にあるが、いったい板碑とは何だろう……〝いたび〟〝いたひ〟あるいは〝ばんび〟とも読まれる石製の卒塔婆なのである。

「石を板のようにして、それに仏の種子（しゅうじ）や仏像、紀年、氏名を刻んでいます。建立の目的は死者の供養、そして生前に死後の安泰を願って逆修（ぎゃくしゅう）供養したもの。さらに一般的な信仰心をあらわしたもの、この三種類ですね」と同保存館長でもある住職の朝木宗珙氏。

ここには約三百五十基の板碑が保存されている。そのほとんどを先代・朝木義弗氏と宗珙氏が収集してきた。「先代は考古学に興味があり、本堂や座敷で保存していました。とにかく〝らくがき寺〟と言われるほどでしたからね。本人も保存館を建てようと準備していましたが病気や戦争で、夢が果たせないまま……私の代になって、周囲の援助で保存館が建てられました」

十五年前、こうして故義弗氏の夢は実現。同館は日本で最初の板碑保存館となった。二階建コンクリート造り。かなり広い。一階には土器や石器、民具などの郷土史料を陳列。そして二階に行くと……一瞬息をのむ。正面に「元弘の碑」。そして左右に数基の板碑が建ち並ぶ。

それぱかりか両側の壁は、天上までビッシリと板碑。というのも板碑の石材が、薄く加工できる秩父産の緑泥片岩で、たとえば高さが四、五十㌢あっても、厚みはわずか二、三㌢しかない。まさに石の板なのだ。その板碑が壁に一列、さらに二列目、三列目とかさなっている。

板碑は鎌倉中期から室町後期にかけて、全国各地で流行した。なかでも関東地方が（とくに東京・埼玉）圧倒的で、石の薄さだけでなく型式も典型的。最上部が三角形で、その下に二段の切り込み、碑面の額部、下部には土に埋めるための根……これは五輪塔の省略変化と考えられている。こうした板碑が館内には百基以上もあろうか。碑面には日蓮宗、禅宗、時宗など宗旨に関する文字や地蔵図などが刻まれている。〝光明真言〟の経を読んだものが多い。壁には写真展示もあったが、それを背にすると周囲はすべて板碑ばかり。館内は墓地のような光景だった。

ひときわ目立ったのが、さきほどの「元弘の碑」だ。

これは大正四年に国宝、戦後は重文——と板碑としては全国的にも数少ない指定をうけている。高〝無縁仏〟にした。

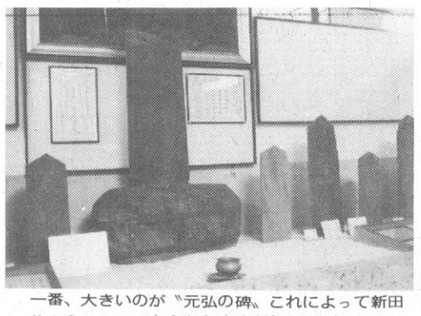
▽徳蔵寺板碑保存館　東京都東村山市諏訪町一—二四八　☎〇四三三—九一—一六〇三

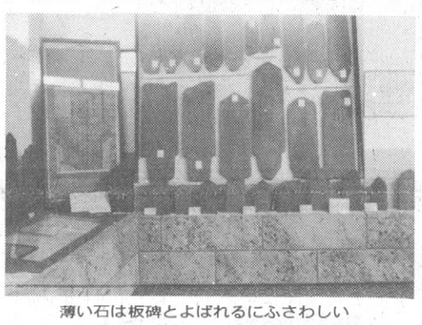
▽交通　西武新宿線東村山駅下車徒歩十五分。

▽休館は毎月曜日、年末年始、開館時間は九時から四時、大人三百円。

ナゾ多い〝供養碑〟

歴史を補う役割も果す


一番、大きいのが〝元弘の碑〟これによって新田義貞の一生に、あらたな事実が加わった


薄い石は板碑とよばれるにふさわしい

間斎藤三郎定長と同孫七家行が十八日、村岡の戦いで討死」という内容が刻まれていた。

この碑は江戸時代に近くの八国山」から移されてきたもので、長い間、徳蔵寺では供養塔として守ってきた。大正時代となり、考古学が盛んになると共に歴史資料として注目をあびるようになる。元弘三年（一三三三年）五月は新田義貞が鎌倉倒幕をめざし、この付近にあった鎌倉街道でも戦っている。十五日間にわたる〝鎌倉攻め〟は太平記によって、世に知られてきたが、このなかに五月十五日と十八日の戦いは記されていなかった。その歴史を補い、事実として立証したのが「元弘の碑」だ。

しかし、なぜ太平記は両日を省いたのだろう—この疑問について朝木氏は

「太平記は戦記物語ですから、〝負け戦〟のところは、おそらく書きたくなかったのでしょう。十五日の府中、十八日の府中が〝負け戦〟になったと考えられるのは、板碑を建てられるほどの中心人物を、新田義貞が三名も失っているからです」と語っている。

天正一一年ごろから板碑は急速に衰えた。だが、研究発掘がすすむにつれてナゾが出てきた。池や泥沼、古井戸に投げ込まれ、あるいは土中に埋められた板碑。それは、ごく自然に人々から忘れられたというよりも、無残に処分されたといえる。その理由は、いまなお不明だ。

板碑の悲惨な運命は、現在にもある。考古学研究がさかんになるとともに古物収集がブームとなり、板碑も売買され出した。そんな話を耳にするたびに、朝木氏は自ら出向いて引き取ってくる。そして毎年、朝木氏と板碑保存会員は板碑供養につとめている。いずれも四百年から七百年前の板碑。その年月が三百五十基もの板碑を

21年ぶりに新人

きびしい自活への遍歴

「大卒女性はどう生きたか」の報告では、六人が立ち具体的な〝この二年〟を物語った。

会場には女子大学生の姿が多く見え終始真剣だった

伴侶を選ぶこと

▽津村明子さん（NHK大阪、教育番組のディレクター）勤続二十一年。NHKの女性職員はたった六%。九百人。放送に直接タッチしているのはそのうちのたった十五%にすぎない。私のセクションでは私のあと女性が入らず、ことし二十一年ぶりに新人が来た。私ははじめから家庭と仕事を両立させようと思ったし、夫と二人で家事・育児をこなし、公的保育所を利用した。女が道を貫ぬくには仕事をつづけられ伴侶を捜さないと。会社に〝使われ〟ている大企業の男性は、お勤めできない。

必要な人間になる

▽本田元子さん（松下電器応用技術計算室長）三七年大卒だが、入社時の面談で結婚してもつづける

昭和五十四年春をもって戦後に大学を卒業した女性の数は百万人に達した。その社会的活用に関する検討を、私たちは急がねばならない。

およそ人間には、すべての者が人間として人間らしく生きる権利と自由とがある。そのためには、精神的・経済的自立に支えられた社会への貢献と自己実現が望まれる。しかしながらわが国においては、今なお大卒女性の就業が不当に阻害され、差別されている事実がある。

大卒女性が社会的に活動するには、大卒女性自身の自覚と向上への努力が必要であることはいうまでもないが、私たちは同時に、社会的阻害要因の解消、排除、問題点の改善もまた急がねばならぬと考え、ここに次のアピールを行う。

アピール

(一) 人間性豊かで健康的な職業生活の保障

(二) 男女平等を保障する法的措置（雇用平等法等）の早期実現

(三) 雇用における男女平等（採用、配置、賃金、訓練、昇進、昇格、解雇基準、定年等における平等）の実現

(四) 男女両性に対する就職時間の短縮・新しい雇用形態（フレックスタイム制、ジョブ・シェアリング等）の検討

(五) 男女の平等と自立に関する、家庭、学校、社会における教育の強化

(六) 大学における就業に関する教育と相談機能の強化

(七) ライフパターンに応じて選択できる教育制度の強化

(八) 男女両性に対する出産、育児休暇の保障強化

(九) 保育に関する施設、制度の整備拡充

(十) 高齢者、病人ケアの施設・制度の整備、拡充

十一、女性の就業に関する相談・助言、情報提供、調査、監督、監視を行い同時に是正命令出せる唯司法的機能を備えた総合的機関の設立。

なぜ〝自宅通勤〟か

定年までがんばる公務員だがまだまだ険しい道が

このあと、会場からの質問、感想となったが、まず最初は住友商事の女子入社時の条件自宅通勤に集中。「自分の会社の場合でも、自宅通勤のお嬢さんは大体早くやめる。こういうワクをはめているから大卒女性の定着率が悪いのではないか」と鋭い皮肉も——が、一社だけ進歩的な試みをしても、女性に交渉に行かせると相手に女などと呼られたり、実際問題としてむずかしい面があるようだ。公務員の女性から「民間企業で、三、四年でやめる人が多いと聞き、驚いている。公務員ではこんな人まず見あたらず、定年までがんばる人が多い。公務員の問題は、職域家庭、学校、社会における教育の強化

(八) 大学における就業に関する教育と相談機能の強化

(七) ライフパターンに応じて選択できる教育制度の強化

(八) 男女両性に対する出産、育児休暇の保障強化

(九) 保育に関する施設、制度の整備拡充

(十) 高齢者、病人ケアの施設・制度の整備、拡充

十一、女性の就業に関する相談・助言、情報提供、調査、監督、監視を行い同時に是正命令出せる唯司法的機能を備えた総合的機関の設立。

婦人手帳

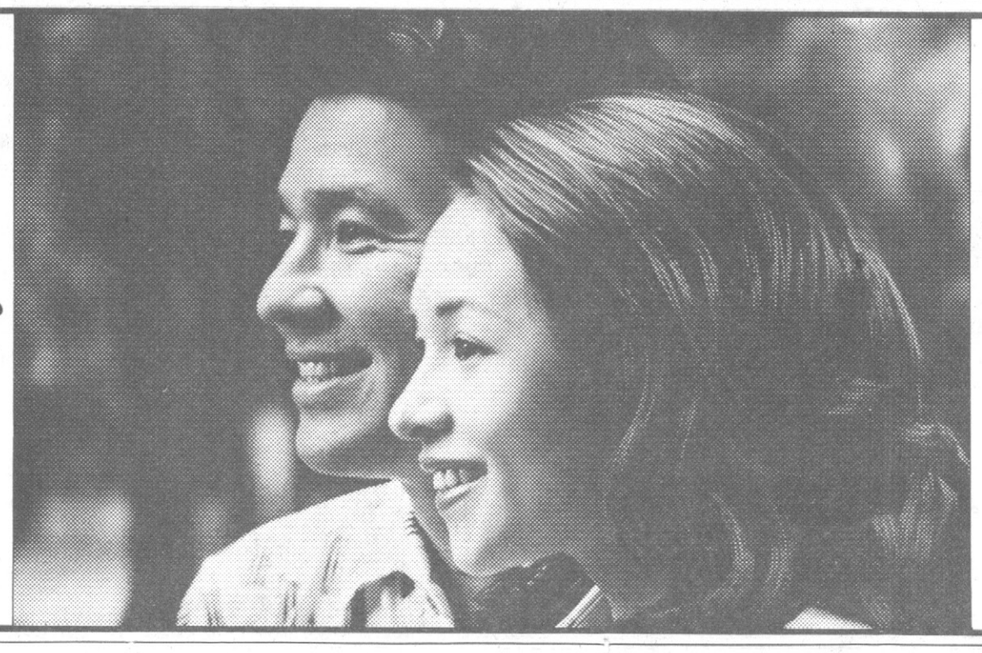
★★★　二百二十日も過ぎて、東京の空といえども心なしか爽やかに、朝夕の大気の感触が快い。日曜日、街を歩いていたら、至るところで子供みこしの列に出遭った。年ごとに町内みこしが数を増す。笛・太鼓に街が浮き立ち、いつもはシカツメらしい顔の薬屋の主人も、太っちょの八百屋のお兄さんも揃いのハッピにごきげんだ。祭りとはまことに日本的だ。朝日新聞が写真「日本の形」を月に何辺か掲載している。その道の人が簡単な解説をつける。「しめなわ」「纏」「花礼」「笛籠」「幕の内弁当」「利休箸」——身周りの品々が美しい。祭りまた然り。形、色、音、すべてが。ハッピ姿は日本人なら誰でもよく似合う。

★★★　「学校へ行ってる娘がおみこしのグループに入ってんですよ。うちの町内ではやりませんがね、よその区に出掛けていって担いでる。誘いに来る仲間はOLから婦人警官いろいろでね」と年輩の友人はいう。本人は人形町に会社があって、この町は女子従業員の会社が多いそうで、もちろん会社も公認で、彼女たちもみこしを担ぐ。「私も午後になると神酒処に詰めてその娘（コ）たちにサービスを」と相好をくずしているのだから、やはり祭りが好きなのだ。娘のことばかり言えない。春・夏・秋とシーズンごとの祭りを楽しむ国は他にあるだろうか。それが地域の心を結び、よそよそしさを取除く働きになるなら結構なことだ。

秋祭きこえて瀬釣ならびけり　秋桜子

★★★　ミナト神戸のポートピア81が、この十五日幕を閉じた。百八十日間のロングランで、千六百万人の入場者を集め、三百二十億円もの収入（黒字分六千億）をあげた。えらいものだ。何がそれ程の人気を呼んだのかは、みてないから分らないが、日本人の七人に一人が足を運んだ勘定というから、これも天の岩戸、アメノウズメノミコト以来の祭り好き——わが民族気質に負うのだろう。会場の人工島・ポートアイランド、実は高度成長時代に湛満整備の目的でつくられたがあまりに金がかかり過ぎ、市民に申訳けが立たない。そこでチエ者がいて、ポートピアの計画が生まれたともいわれる。山をくずし海を埋め、自然とひきかえの祭りでもあったわけだが、祭りは本来庶民のもの。成功の美酒は、だれにとその実りを還元するかにかかっているといえよう。

通帳のなかで迷っているお金、
定期にしてゆとりをつけましょう。



ふだんの暮らしに役だつ
使いこなしたい、定期です。

毎日の暮らしに必要な額だけは、普通預金に預けておいて、残ったお金は総合口座の定期預金にしておく…。まとまった資金づくりの手がかりができます。コースは2年・1年・6ヵ月といろいろ。思わぬ出費が生まれたら《協和》の自動融資で総合口座にお預けの定期預金の総額の90%、最高100万円まで自動的に借りられます。いま通帳の中で迷っているお金は、いざというときにも役に立つ総合口座の定期預金にしておきましょう。ふだんの暮らしに弾力がつきます。

使いながら貯めて、貯めながら使う。
総合口座の定期預金

協和銀行

婦人教育研究集会

〝生活の見直しと創造〟

定員をはるかに上回る参加者で会場はいっぱい

各自治体にも、婦人問題担当の窓口が徐々に設けられ、「国際婦人の十年」後半期は地道なスタートを切っている。昨年、デンマーク・コペンハーゲンの世界会議で日本も署名した「あらゆる形態における男女差別撤廃条約」が三日、発効。あとは批准を待つばかりだ。

（財）日本女子社会教育会（田中義男理事長）では、このほど「昭和五十六年度　婦人教育研究集会」を東京・芝公園の日本女子会館で開催。全国三四都道府県から参加した約200名が「生活の見直しと創造」をテーマに、二日間にわたって研究討議を重ねた。「国連婦人の十年」の後半期ということもあって、今年は特に「国内行動計画」後半重点目標をはかるため、婦人の就労・保健・教育・老後の諸問題に重点を置き、その学習活動、実践活動について情報交換をしながら話し合いを進めようというのがねらいだ。

一日目は、婦人問題企画推進会議座長の藤田たき氏の「『国内行動計画』後半重点目標の基本的課題」についての講演のあと、各地域で活動している四人の婦人から実践発表、分科会討議――第一分科会「婦人と就労」――助言者・労働省婦人少年局婦人労働課女長佐藤キンテ氏、第二分科会「母性と保護」――同・労働省安全衛生部労働衛生課女技官福渡靖氏、第三分科会「婦人と学習活動」――同・日本女子大学女子教育研究所助教授日本和代氏、第四分科会「婦人と老後生活」――同・聖心女子大学教授田村美佐子氏――が、二日目は前日に引続いての分科会討議とパネル討議が行われた。

（基調講演は四面へ）

働く婦人にシワ寄せ　婦人自身が考え動き

学習で問題点を洗う　老後と取組み10年

〝できる〟ことは主張

〝現実を直視して〟　〝看護は女〟の通念打破

地域に母性健康診断　少女充春は社会の責任

男女相互の啓発を　広く効果を期待するには

母性と保護

福渡靖氏

第二分科会は母性と保護が主題。「母性と保護」を理念として、つぎの三テーマで出席者報告があった。「母性を尊重するための労働条件と職場」「母性と保護を考える」「母性と家庭」。

第一テーマでは、労働省婦人少年局の佐藤キンテ氏が「母性と女性の問題」について、「母性と保護の問題は、女性の問題と切っても切れない問題であり、女性の母性を尊重することは、女性の問題を解決することになる」と問題提起をした。

次に、福渡氏が「母性と保護」について、「母性と保護の問題は、本来、母性は本人の意識の問題であるが、その意識が女性を犠牲にしてまで、職業を優先させることに問題がある。母性を尊重することは、男女共通の問題であり、母性を尊重することは、男女の問題であり、母性を尊重することは、男女の問題であり、母性を尊重することは、男女

藤田たき氏の講演

国際問題に関心を

婦人会議の対話を生かせ

「婦人の十年」の後半期にむけて、この日、藤田たきさん（婦人問題企画推進会議座長）は、昨年、コペンハーゲンの世界婦人会議で採択された「国連婦人の十年後半期行動プログラム」（以後プログラム）の基本的課題について語り、参加者に国内の男女平等はもとより世界平和をめざして行動しようと次のように呼びかけた。

国連は第二次大戦の悲劇を繰返えさないために、〝平和〟を目的に誕生した。その平和には国連憲章の前文冒頭、また第三章第八条をとおして、男女平等も含まれており、すべて国連は〝人権委員会〟のなかから〝婦人の地位委員会〟を独立させた。私は婦人問題を考え、地位向上をめざす窓口があることは大事だと思う。この〝婦人の地位委員会〟は、いままで婦人会議で〝婦人の十年〟がスタートし、一九八〇年へむけて作成されたのが世界行動計画でした。

これは二〇六項目からなり、目標は〝平等、開発、平和〟の三点で、日本国内行動計画に書いてあることは、世界行動計画にも書かれています。

その内容はあらゆる分野の重要な政策決定部門への婦人参加、教育や訓練の機会を男女平等にすべき、募集から定年後の待遇を含めた労働条件の男女平等、母性の保健衛生、そして男女の伝統的な役割分担の再検討……だから〝私つ女は内〟はダメなのです。

藤田たき氏

なぜ私が「世界行動計画」について話すかというと、コペンハーゲンで各国が、どれだけ世界行動計画を実践したか再検討したところ、これらの計画は今後五年間も続けなければならなかったからです。「国連婦人の十年後半期プログラム」とは、このコペンハーゲン会議で作成されたもので、前期が世界行動〝計画〟であったものが、後期はプログラムとなった。

それだけでなく前期の世界行動計画は序章と第一章をのぞくほかは、〝婦人の地位委員〟など国連事務局が作成したものだったが、プログラムは会議席上で各国が提案、採択したところ二百八十七項にもなった。そこには第三世界や開発など貧しい国々の代表の意見があふれています。これはメキシコ会議で当時のエチェベリア大統領が「女性の地位がいかに向上しても、人類の大半が人種差別と植民地主義によって、しいたげられている時に、また全人類の七十%をしめる開発途上国が全世界収入の三十%しか得ていないのでは男女平等もありえない。開発途上国の飢えと貧困、早死の克服こそ急務だ」と演説したことにも関係があります。

ところでプログラムは婦人会議で参加国約百五十ケ国のうち賛成九十四、アメリカと力ナダ、オーストラリア、イスラエルの四ケ国が反対、他は棄権で採択された。日本は西欧諸国から棄権するだろうと思われていましたが、首席代表の高橋展子さんが勇気をもって〝賛成〟の一票を投し、西欧諸国を驚かせた。そして日本は開発途上国に生きる女性に援助、支援をすることを明言、プログラムの大きな課題の一つとなった。

さてプログラムでは〝平等〟について、労働の権利、教育の権利、権利……権利だけを求めるのでは女、女性が能動的行為者として最初から、開発に参加する権利と責任、および機会の平等を意味しています。いままでのような静止状態の平等から、あらゆる分野に積極的に参加してゆき、その成果を男性と一緒に受けようと、このプログラムはハッキリ明言した。

また〝開発〟とは政治や社会、あらゆる面での物的資源と人間の肉体、精神などの開発であって、一つの国、民族、団体、性など他のものにミジメさを与えるようでは開発ではない。ILOのプライオンジャー事務局長は、発展途上国の農村女性が悲惨な環境にいるうちは平和ではない――と訴えている。また高橋展子さんは〝自分たちの国は、開発されていない国に対して、いつでも働くと言った。

国連の報告に「現在、婦人は世界の成人人口の五十%以上働いている。これは公的労働のことです。ところが世界所得の十分の一しか女性は得ておらず、資財、財産は世界のたった一%。過去五年間を見ても、これはむしろ悪化しているのです。開発途上国では文盲人口さえ増えている。

そしてプログラムでは、こうした原因の一つに、女性が開発の一歩から参加していないためで、女性をヌキにして女性の問題、医療問題、食糧問題などを論じても解決は見当違いの方向にいく――と指摘している。発展途上国の女性は一日十五、六時間労働で、水運びだけでも五、六時間という報告もある。道具が入っても使用法は男性だけに教えて、女性から仕事を奪うこともある。

日本女性はいままで国際協力に自己中心的であったが、開発国の叫びに耳を傾けて欲しい。多くの女性がどんどん国際問題に関心をもち、世界会議に参加してゆけば、軍縮はかりか核を根絶もできるのではないでしょうか。

三面の関連記事

手袋

初のファッションショウ

派手な色の組合せ

スポーツ用がブーム呼ぶ

かつて手袋は防寒用小物だったが、いまやスポーツ用品やファッションアクセサリーとしてかかせないものになった――と、このほど日本手袋工業組合（理事長・宮内敏雄氏）は、わが国では初めての手袋ファッションショーを東京・原宿の「ラフォーレ・原宿」で開催した。

同工業組合は香川県内で手袋の生産をしている二百の中小企業者が加盟しているもので、ここだけで全国のおよそ九〇%のシェアーを占めている。それだけに手袋の種類も豊富で、今日は縫手袋、革手袋、ビニール手袋、合皮、編手袋など約五百点を会場に展示、二百五十点をショーで招介した。

お値段のほうも、二千円前後のニット手袋から、二万円の革手袋までときまさま。

婦人・紳士用皮手袋

各テーマの最初は手袋だけを紹介

テニス手袋は最近のオシャレ

主役として登場

手袋は洋服や着物と違って、〝手〟というホンの一部分のオシャレ小物のため、ファッションショーでも、つねにワキ役的存在だったといえる。その手袋が主役になったことについて、あるモデルは「手袋のモデルは初めてだし、まして小物。表現方法に困った」と裏方の苦労をのぞかせたが、約五十分間にわたるショーは、トータル・ファッションにおける手袋の魅力を充分に引き出していた。

ショーは映画「手袋物語」でオープニング、つづいて「ニット編手袋」「革手袋」「スポーツ用手袋」「ホームカバー、子供用ニット手袋」「革手袋、袋物」「縫い手袋」の六部門で構成されていた。

どの部門もスタートはモデルがタイツ姿で、まず手袋のデザインや色彩を招介してから、トータル・ファッションへと移ってゆく。そしてフィニッシュは、数十名のモデル全員がジョギングパンツ姿で登場。それぞれ日本、アメリカ、カナダ、フランス……の国旗がスポーツ手袋Tシャツとコーディネイトしていた。どの部門でもカラフルな手袋の多いのが目についた。

全体を引きしめる

革手袋は黒、茶、ベージュといった従来の色から、ブルー、グリーン、黄色……などもあり、これらと同色系のベルトや靴、バッグあるいは靴下でコーディネイトしていた。

手袋の効果を感じさせた一つに、黒の洋服に真赤な皮ベルトと革手袋でアクセントをつけたものがあった。〝赤と黒〟のコントラストが美しい。もし、これが素手だったら、おそらく平凡な印象に終っていただろう。またグリーン系の服にブルーの革手袋――と、手袋という小物ならではの配色もあった。このほか革手袋ではうえから金、銀のブレスレットをかけて、よりドレッシーになるオシャレも紹介されていた。

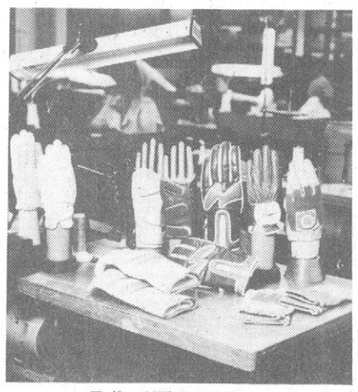
ところで手袋産業は五十二年から五十四年にかけての暖冬で、多くの在庫をかかえるとともに円高の影響で輸出も減り、しばらく低迷状態が続いていた。この打開策として、業界で目をつけたのがスポーツブームだった。現在、同組合はゴルフ・ボーリング、ドライブ、スキー、乗馬、野球をはじめ最近のテニスブームを反映してかテニス用手袋まで――各種のスポーツ手袋生産に力を入れてきた。

今回紹介されたスポーツ手袋は、いずれも色の組合せが多く、一色物は少ない。とくにゴルフ手袋のなかには指筋に合わせて紺、赤ピンク、白、黄色をあしらうという大胆な配色もみられた。これはスポーツ手袋が需要の伸びとともに、より個性的で高級品を求める人が増えたためだという。

93年目のショウ

季節の手袋ファッションとしては、春、夏にレース手袋。秋は革手袋が中心になってしまうが、〝手袋の季節〟冬になるとカジュアルならニット手袋、スポーティでは合皮……とジョーも〝冬〟に重点がおかれていた。最近、レース手袋をしている女性が少ないが、これについて同工業組合は「ミニスカートが流行する前までは需要がありましたが、ミニによって服装が簡素化してしまい……」と説明する。ミニ流行が去ったいま、レース手袋は再び復活するかどうか、同工業組合はなりゆきを見つめているものの、目下の悩みは、昨年の冬に手袋の在庫がなくなり、今年は生産注文に応じ切れないのでは――という嬉しい悲鳴。

明治二十一年、香川県大川郡白鳥村の両見彝礼氏がメリヤス手袋製造を始めたのをキッカケに、同工業組合は今年で九十三年の古い歴史を持つ。この〝手袋ファッションショー〟は新しいニーズを求めて、九十三年目にして初めて開催したものだけに、多くの関係者の注目をあびた。


スポーツ手袋のいろいろ

奥さまワイン入門

葡萄色の世界

大陽と大地の恵み

気楽でリッチな飲みもの 人類の文化と共に長く

辻　綾子

プロローグ、ワインへのお誘い

日本にはいろいろな国の酒類が数多く販売されています。ビール、日本酒、ワインといった醸造酒。ウイスキー、ブランデー、ウオッカ、ジン、ラム、焼酎などの蒸溜酒と大変多様で、その上値段の幅がありすぎ、どれを選んでよいか迷う。ラベルの見方がわからない。ホテルやレストランに行き、ワインを注文しようとするとやら横文字が並んでいてどう注文すればよいのか、といった疑問がよく出されます。それもそのはず、ワインの世界は、きわめつくす事が出来ない奥行きの深い文化の香り高いものだからです。

限られた紙面ではそれら全部にふれる訳にはいきません。すべてを紹介しようと思ったら、五〇〇点も六〇〇点にもなってしまいます。そこで、今回はアルコールに強い女性にも弱い女性にも、また初めての方にも、楽しく気軽におつきあい頂くための入門的なものを書きます。

☆　☆

自然のめぐみをいっぱいに受けたぶどうと人と技術によって作られるワイン。これほど歌や詩にそして絵画、物語に色や香り、味を讃美されている飲物は他にはないでしょう。

ワインは食事を美味しく楽しくしてくれます。それは心が豊かになること。私達が食べかつ飲むことは人生のよろこび。ワインが食卓にあると会話がそして団らんがたのしまで。その意味でワインは一番家庭的な飲物。改まった席で飲むより日常の食事の時、家族や恋人、女同志で楽しめるもっとも気楽でリッチな飲物なのです。

最近第二次ワインブームなどといわれています。ワインを楽しみながら、家族揃って食事をされる機会が多くなっているのではありませんか？日本ではじみのうすかったワインですがこれからはどんど生活の中に入って来る事でしょう。

ワインの消費量は毎年伸びています。しかし伸びているとはいえ、海の向こうフランスやアメリカと較べますと、データが示す消費量は国民一人当りフランス九二ℓ、アメリカ六・二ℓ、日本〇・三八ℓ、非常に差があります。従来の日本では、食事の時ワインを飲む習慣がない上に、魚中心の淡白な食事、良質の水やお茶がある。女性の飲酒に対する罪悪感等により、消費が伸びなやんでいました。ところが最近は一般の家庭での需要がふえて来ています。

ワインのルーツにふれてみますと、紀元前からメソポタミア地方で作られ飲まれていた、人類最古のアルコールです。したがってワインの歴史は人間の文化でもある訳です。旧約聖書には、大洪水のあと、ノア農夫になりてぶどうの木を植えワイン作りはじめた、と記されています。聖書の内容がその時代の人々の生活を物語っていた事は考古学上明らかにされていますので、有史以前から人間とワインのつき合いがはじまっていた事になります。一万年ほど前ともいわれています。

ワインが最初に作られた地方はぶどうの原産地である中央アジアといわれ、のちギリシャ、ローマに伝わり、フランスをはじめスペイン、ポルトガルに広がっていったといわれています。これらの国はワインの品質を決めるぶどう栽培に有利な条件、豊かな土壌と温暖な気候をかねそなえているので、ワイン生産国として今なお繁栄しています。

ワインは新鮮なぶどう果汁百%のものを原料として発酵させたもので、水やアルコール、着色料等は一切加えておりません。ワインの成分は太陽のめぐみとぶどうの木が大地から吸いあげたものだけ。もっとも自然に近い、アルコール度数も十二度～十三度と飲みやすく、どなたにも向く飲物それがワインです。

楽しいワインパーティ

予約受付け

国民休暇村

秋もグンと深まり、涼しい毎日が続いています。

全国の国民休暇村では、十月一日から、年末年始（十二月二十八日～一月五日）までの予約受付を開始します。申し込みは左記の要領で。

▽受付開始＝十月一日（木）
▽受付対象期間＝十二月二十八日～一月五日
▽受付場所＝各案内所か希望する国民休暇村
▽受付時間＝各国民休暇村・午前九時～午後八時、各案内所・十月一日のみ午前九時～午後六時、二日以降は午前十時～午後六時
▽受付方法＝電話か往復ハガキで。予約の可否は電話の場合はその場で、往復ハガキの場合は返信用ハガキで連絡がある。

尚、次の休暇村は混雑が予想されるので、往復ハガキのみの申し込みで十月一日～十月五日の消印で締切り、希望者多数の場合は抽選。気仙沼、裏磐梯、那須、館山、南伊豆、伊良湖、能登半島、近江八幡、南淡路、竹野海岸、加太、勝浦、蒜山（ひるぜん）、大久野島、志賀島。

〝情報公開〟の会

「情報公開法を求める市民運動」は「原子力発電と情報公開」と題して九月二十六日、午後一時三十分～四時三十分まで渋谷勤労福祉会館で定例会を開く。

原子力発電所は原子力基本法に、民主、自主、公開という三原則がうたわれながら、公開原則はいかされていない。なぜこの間のような敦賀原発の事故かくしが行なわれるのだろうか。現地で闘っている人、ウラン濃縮プラント建設反対運動に取り組んでいる人たちから、情報非公開の実例や、情報操作など、さまざまの角度から報告、討論を行う。

地域だより

【板橋区】　精神発達に障害をもつ子供たちの、すこやかな発達を目的として、「おもちゃライブラリー」を九月十八日から発足させた。

開館日＝日曜日・十三時～十六時三十分。金曜日・九時三十分～十三時。

対象＝精神発達に障害を持つ子どもと親。

費用＝無料。

ところ・問合せ＝精神発達障害療育さざんかの会（〒174北区西ケ原四ノ三六ノ五　（九四九）九八一七。

【中央区】　第二九回「中央区観光商業まつり」が十月一日から二十日まで開催される。

恒例の観光めぐり（スタンプラリー）、スピードくじつきセール、ミス東京パレード、地元商店会が中心になっての植木の即売など、多彩な行事を区内一円で繰りひろげる。

「銀座展・江戸～昭和」

銀座を中心に、そこに住む市民の生活に根ざした江戸時代からの資料を公開する。入場は無料。

期間＝十月一日～十一月二十九日。午前九時三十分～午後四時三十分。

会場＝築地社会教育会館内郷土資料館。

休館日＝毎週月曜日、第三日曜日、国民祝日。

【新宿区】　第二回「大新宿まつり」が、十月二日～十一月十二日まで行われる。目でみる新宿文化史展、パレード・なかよしキャラクター大行進、ビバ・プラス・フェスタ81、大特価市、新宿オータムコンサートほか、盛り沢山の催しが企画され、区民、区を訪れる人たちの参加を呼びかけている。

「ガキ大将81」が都民の日の十月一日、西戸山公園野球場で開かれる。ジャンケン、障害物競争、綱とり、リレー、ディスコダンス、風せんわりなど、小・中学生を対象にしたゆかいな運動会。会場へは各児童館ごとに引率していく。

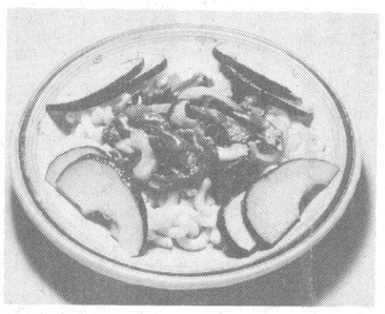
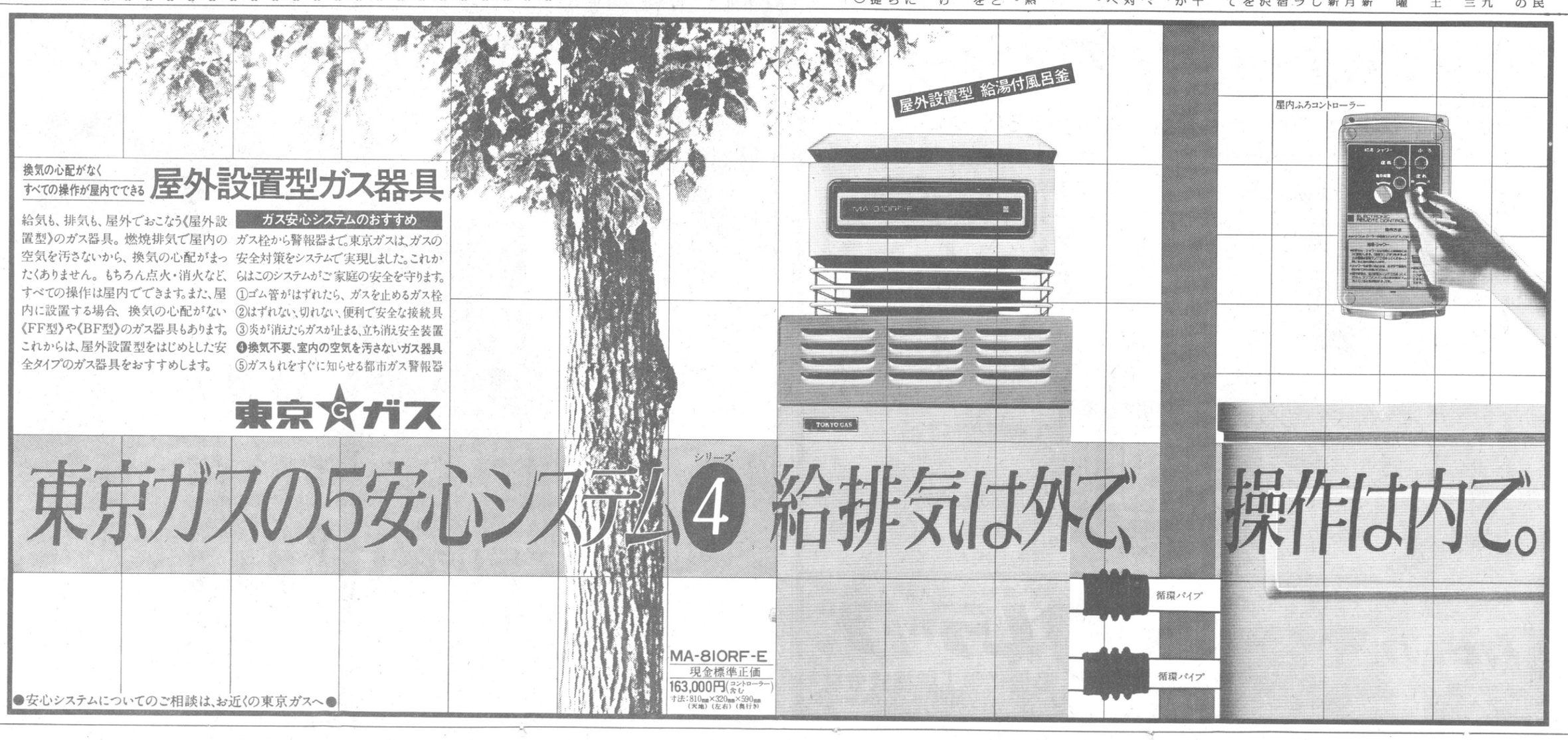
料理

マカロニのかき油炒めかけ

〈材料四人分〉
マカロニ…300㌘　牛肉…200㌘　塩・ごま油、酒、しょう油、しょうが汁…少々　玉ネギ…½個　生しいたけ…6枚　セロリ…1本　オクラ…8個　にんにく、ねぎ、しょうが、油、かき油、砂糖、コショウ、中華スープ、かたくり粉…大さじ1　かぼちゃ…150㌘　揚げ油。

〈作り方〉
①牛肉は一口大に切り、酒、しょうゆ各小さじ1、しょうが汁少々をふる。
②玉ネギはくし型に切る。しいたけは石づきを除いて細切り。セロリはすじをとり、斜め切り。オクラは包丁の先で傷を数ケ所つけて塩湯で約2分ゆで、2つに切る。
③にんにく、ねぎ、しょうが各少々をあらみじんに切る。
④油大さじ2、しょうゆ大さじ2、かき油大さじ1、砂糖、ごま油各小さじ½、こしょう少々、中華スープ¼カップを小鍋に入れてあたためる。
⑤マカロニはゆで、塩小さじ⅔、ごま油小さじ2をふる。
⑥かぼちゃは薄く切り、カラ揚げにして塩こしょう少々をふる。
⑦中華なべに油大さじ2を熱し、③の順に入れて炒める。
④を加えて煮たたせ、スープでといたかたくり粉を入れ、とろみをつける。
⑧器にマカロニを盛り⑦をかけ揚げたかぼちゃをかざる。

サラダ菜やサニーレタスを皿にしき、その上に盛りつけるとさらに豪華な雰囲気になる。（資料提供・（社）全日本マカロニ協会）


マカロニのかき油炒めかけ